

令和3年度学校評価アンケート 保護者の御質問・御要望への回答

I 学習指導について

1 学習成績は個人の問題なので、小テストなどでクラスに順位をつけるのは必要ないのではないか。

2 人前で発表する経験や協議する経験を学校生活の中でさせてほしい。また、小論文のような考えをまとめて書くような経験もたくさんさせてほしい。

個人差を踏まえ、学校の教育活動全体を通じ、効果的な指導を行うよう努力いたします。各教科では、グループ学習を取り入れて生徒間で協議する時間を設定したり、課題に対してプレゼンテーションするような場面もあります。

小論文については、2月から小論文ノートを使用しての練習や小論文講座の受講、3月には小論文模試を行う予定です。来年度から行う課題研究では、自らの考えをまとめ、外に発信する力や伝える力、表現力などにも着目して取り組んでまいります。

また、課題研究発表や読書活動発表など、個人発表する機会を意図的に設けています。

課題研究発表会や授業において、協議・発表の機会を増やすとともに、LHR等の時間に生徒が主体的に活動できる時間を設けていきたいと思ひます。

3 板書のスピードや量がとても多く、話を聞く余裕がない授業がある。板書の内容をプリントなどにして配付し、説明などを補足で書き足したりするようにしてほしい。

4 週末課題の必要性は感じているが、総体期間中やテスト直前は課題をなくしてもよいのではないか。各自で考え自主的に学習に取り組める生徒たちだと思ひう。

各教科の授業を行う上で、板書とプリントのバランスを考慮して実施してまいります。

週末課題に関しては、年間計画を提示し、生徒が時期を前倒しして実施するなど、柔軟に取り組めるように工夫して実施していきたく思ひます。

II 生徒指導について

5 重いリュックをわざわざ降ろし、コートを玄関で脱ぎ着するのは大変なことだと思ひう。必ずそうしなければならない理由もないと思ひうので、上着をどこで脱ぎ着するかは、特にこだわらなくてもよいのではないか。

6 タイツを履く時期を、寒くなったら履けるようにしていただきたい。

7 衣替えの移行期間を前後長くしてほしい。寒い年、暑い年もあるし、人それぞれ暑さ、寒さの感じ方も違う。
スカート、スラックス等選択肢を増やしてほしい。

8 4月途中まで、タイツ着用を自分の判断でできるようにしてほしい。
寒い時期の式は、ブラウス1枚では寒いときがあるので、指定セーターの着用ができるようにしてほしい。

コート等は訪問先の玄関に入る前に脱ぐのが一般的なマナーと認識しています。社会人としての常識を高校生の時から習慣づける必要があると思います。

タイツについては、現在も担任に一言伝えて着用してよいことになっていますが、衣替えの移行期間も含め自由度を増す方向で検討します。

スカート、スラックスについては、現在話合いの最中です。

9 校章、学年章バッジの取り外しがしづらいという案件について数年に渡って問題となっている案件であると認識している。在庫の関係もあるのではと思っていたが、変わらず問題提起されているのはいかなるものかを感じる。
堪え忍ぶことももちろん大切だが、一方で問題があるとわかったときに即座に解決に向けて行動する力がより重要視されていると思う。

校章、学年章バッジの発注について事務部と確認します。
どのような形がいいのか御提案いただければ幸いです。

10 校内での携帯の使用は少し前まではもっと厳しかったし生徒もきちんと守っていたと思うが、今はゆるいのではないか。

学校の規則は変わっていませんが、校内使用でスマホを一時預かりとされる生徒が時折見られます。より心に響く啓発（指導）を全校体制で続けていきたいと思っています。

11 昨年度は見られなかったが、今年になって迎えの車が逆走したり、猛スピードで走っていたりするのを見ている。祖父母の方の運転が特に危ないと感じる。

年度当初の呼びかけだけでなく、一斉メール配信など呼びかけを頻繁にすることや立て看板の設置等を検討します。

Ⅲ 特別活動について(部活動を含む)

12 北高祭の準備のため授業に出席できず、公欠となったことがあった。部活動等で公欠になるのは分かるが、学校行事の係の仕事で公欠となるのはおかしいのではないか。また、その行事の仕事が必要なときに、一方で授業を行うのも変ではないか。

部活動同様、生徒会行事においても円滑な運営のためにはどうしても準備とリハーサルが必要です。今後は準備に当たる人員や時間をできるだけ少なくなど、改善策を検討したいと考えます。

13 学校行事について、新型コロナウイルスの影響等で保護者が見る事ができなかった場合「Zoom配信」することはできないか。

過去に類似の事例がありました。

動画配信ではありませんが、卒業式のDVDを制作・配付しようと考え、なんとか実現しようとして検討を重ねました。しかし最終的には止む無く断念することとなりました。理由は、映る人物全員の肖像権の問題を解決しなければならないためです。

Zoom等による映像配信でも同じ理由により、実現は難しいと考えられます。

14 文化祭を通じて学校生活をどの様に過ごしているのか感じる機会がなかったことはとても残念に思っている。

中学校では、修学旅行に行くことができなかったため、全国の状況により、先生方には御負担をおかけすると思うが、是非高校では行かせてあげたい。

現時点では、万全の対策を取った上で、予定通り行う内容で業者と話を進めております。また、万一に備えて、感染状況を見て感染症補償のついた保険に加入することも考えております。

15 部活動について、学校として部活と認め活動させている以上、子どもたちも真剣に取り組んでいるので、知識・経験のあるきちんと指導できる指導者をあてていただきたい。

部活をきちんとやる事も教育と考えている。学校としても真剣にお願いしたい。

16 部活動の全国大会出場の際に、部員の家庭に10万円を超える募金ノルマがあるのはいかがなものか。他校では全校生徒に一律少額の寄付を募るなど、一家庭にだけ負担のかからない工夫をしているようだ。是非、改善案の御検討をお願いする。

部活動の複数顧問制など、指導体制を整備しているが、職員数の関係でギリギリの人数である。生徒の発達を十分理解し、個々の能力、体力にあった運動を行わせ、心身の状態等に関する正しい知識を得た上で指導を行うよう努めます。

全国大会等に出場する際の募金の扱いですが、次の点について、顧問に指導しております。

- ・保護者会の会計担当者に依頼し、教職員が現金を扱うことがないようにすること。
- ・生徒が現金を扱ったり、出身中学校等に寄付のお願いに行くなどの寄付行為を行わないこと。
- ・事前に必要経費を概算で見積もり、予算案を作成し、大会終了後は決算書を作成し、保護者会や寄付金の協力者等に決算報告をすること。
- ・各家庭の事情等も十分考慮して、一律にノルマを課すことがないように、無理のない計画を立てること。

今後、大会出場等で募金を行う際は、上記の点について再度確認し、徹底してまいります。

17 コロナ禍で学校行事に参加できなかったことが心残りだが、ホームページを通して様子を見ることができた。より充実したホームページであるようお願いする。

学校での様子等をできるだけタイムリーにホームページに掲載していくよう努めていきたいと思います。ホームページに関して、御意見や御要望等がございましたら、遠慮なく御連絡ください。

IV 総務部について

18 設問15のように複数の回答を求めるのにも関わらず、回答番号と一致しないやり方は非常に分かりにくい。
この自由記述もメールやHPで回答できるようにしてほしい。

19 このようなアンケートや記述用紙は無記名にした方が様々な意見が集まると思う。

1カ所に2つ以上マークすると機械が読み取れません。

できるだけ負担にならない様に、例年より質問数を減らしておりますので、御了承ください。

また、自由記述のメール等による回答につきましては、情報漏えい防止の観点から手書きとさせていただいております。

様々な御意見を頂くことは大切なことですが、学校側が状況を正確に把握して回答する観点から記名式とさせていただいております。

V ICTについて

20 情報の重要度等を考慮した使用法をお願いしたい。重要度の低い内容などはクラスルームを使用し、クラスルームでお願いしたいという情報は教室内掲示などに留まっている。テストの時間割、行事のタイムスケジュール等、前日などに必ず確認が必要なものはなぜか掲示で、希望者だけが受験する英検の情報などは全員にペーパー配付される矛盾を感じている。

情報の重要度を精査し、的確に伝わるように努めたいと思います。重要度の高いと思われるものには配付物とグーグルクラスルームの両方を活用して連絡を図りたいと思います。

21 オンラインで模試を実施する時、スマホの状態により設定できなかったり準備に時間がかかることがあった。画面が大きい自宅のパソコンや学校の端末の使用を認めるなど、状況に応じた対応を検討していただきたい。

業者においても初めて(昨年1月実施)の実施で、不具合が生じているようです。今後は改善されるものと思います。学校での実施について、生徒用タブレット端末が導入されたので、その使用が可能となると思います。

VI その他

22 学校行事はホームページではなく、プリントで渡してほしい。

学年通信に行事予定を記載し、配付しております。今後、行事予定等が変更となる場合は、改めてプリントを配付したいと思います。なお、年度初めに年間行事予定表を生徒に渡しております。また、進路の手引きにもスケジュールが記載されていますので御確認ください。

23 コロナが落ち着き、今後インフルエンザの流行も気になる。引き続き感染対策をお願いしたい。

感染症対策は引き続き行ってまいります。新型コロナウイルス感染症に限らずインフルエンザ・胃腸炎等、季節毎、感染症対策が必要です。基本は「手洗い・うがい」の励行が一番の策であると学校医からの指導もいただいております。HRでの声掛け、保健便り等で周知徹底を図ってまいりたいと考えています。